

インターネットバンキングにおける不正送金被害が長野県内で連続発生！

全国的にインターネットバンキングを利用した不正送金事案が後を絶たない状況にある中、本年12月に入り、長野県内においても同種事案が連続発生しています。そのため、個人・法人ともに被害を防ぐための対策を講じるようお願いします。

【サービス利用時の注意】

1 普段と違う入力画面等を発見した場合の通報

インターネットバンキングにログインする際、普段と違う入力画面が表示された場合は、パソコンがウイルスに感染している可能性があります。

ID・パスワード等を入力せずに金融機関や警察に通報をお願いします。

2 ワンタイムパスワードの利用

一部金融機関で導入しているワンタイムパスワード等を利用することで、なりすましによる不正な送金被害の防止につながります。

利用されている金融機関にお問い合わせしていただき、積極的にワンタイムパスワードを利用しましょう。

【日頃の注意・対策】

1 ウイルス対策ソフトの使用・検索

インターネットを利用するパソコンにはウイルス対策ソフトを必ず導入し、常に最新のセキュリティを確保するとともに、定期的にウイルス検索を実施して、感染が確認出来た場合は駆除して下さい。

2 パソコンのOSやアプリケーションを最新の状態に更新

ウイルスは、パソコンのOSやインストールされているアプリケーションの脆弱な部分を狙って侵入することから、OSやアプリケーションのアップデートに努めましょう。

3 パスワードの定期的な変更等

インターネット上の様々なサイトやサービスで、同じID・パスワードを使いまわしていると、ウイルス等に感染した際にインターネットバンキングだけでなく、他のサイトでのなりすまし等被害が拡大する可能性があります。

サイトごとに違うID・パスワードを設定し、定期的に変更するようにしましょう。

